

# ウォーターズ・リバイタルプロジェクト

※略称：WRP

## 『野根川』事例のご紹介 篇

2018.07.18



野根川リバーウォーク景観



野根川の天然遡上アユ 2018年6月（解禁日）

## ウォーターズ・リバイタルプロジェクト (WRP) について

私たちウォーターズ・リバイタルプロジェクトは、「川の保全と地域の活性化」を推進するNPOです。魚類や植生、地質などの専門家と共に「川を保全」しコンテンツとしての最適化と見える化を実現して、流域自治体と共に交流人口を拡大する活動を推進し、豊かな環境と地域文化が生み出すビジネスをプロデュースします。

WRP地域貢献のポイントは以下の3点です。

1. 川のコンテンツ化と最適化
2. 地域ビジネスの開発とチャネル開拓
3. 観光振興に向けた人材育成

## 日本の清流と 地域活性化計画について

多くの清流の自然環境は微妙に変化し、天然アユやサケ・マス類の遡上量も減少しており、環境の保全が重要な課題となっています。

そのような中で基本目標を設定し、○年後に素晴らしい景観と豊かな水産資源を誇る清流として甦らせ、新たなビジネス資源の創出や観光客誘致による地域活性化を行ないます。

## 地方創生の構造的な課題／課題解決に向けての方向性

### 課題

日本の各地方では、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少をさらに加速させる」という「悪循環」が起きています。「悪循環」の連鎖に歯止めをかけ、好循環へ転じること、すなわち、「しごと」を創る→「ひと」を呼ぶ→「まち」が活力を取り戻す→「しごと」…という「まち、ひと、しごと」の創生と好循環の確立」を実現することが重要です。

地域で活動する主体がない、活動団体の連携がない、地域資源・ポテンシャルが生かされていない、地域住民の危機意識や活性化に向けての意識が低いなどの課題が指摘されています。



### 課題解決に向けての方向性

各地方の清流水系を中心とした豊かな自然の「保全」と「活用」を軸にしつつも、「しごと」と「人」の課題にも重点的に取り組んでいく。

各分野の専門家の参加や圏域外の有識者とのつながりをつくり、地域にとどまらず、都市部、全国へと事業展開を図っていく。それにより住民意識の改革と地元住民のやる気の醸成、住民によるまちづくり体制を形成していく。

# 地域活性化計画の概要



①

日本の清流を守る  
河川環境の整備

- ・えん堤や魚道などの横断構造物の改修による水生生物の棲息環境の回復
- ・河川を利用した環境教育の実施
- ・乱獲の抑制（禁猟区・禁漁期の見直し）



②

日本の清流の活用  
例) アユのビジネス化  
河川組合の活性化

- ・買取制度の復活
- ・鮎の冷凍保存
- ・販路開拓（都市部）
- ・地産地消（観光客）



③

日本の清流への集客  
流域のリバーパーク化

- ・釣客誘致
- ・リバーウォーク（ガイドの育成）
- ・訪日外国人旅行者対策

## 野根川水系を守る （遡上環境の整備）

### 基本目標

野根川水系を、素晴らしい景観と豊かな水産資源を誇る、人間と川との密接な繋がりが育んだ独自の文化を今に受け継ぐ日本有数の清流として甦らせ、観光&ビジネスの資源となる天然アユなどの『通し回遊魚』の遡上数を増加させます。

### 野根川えん堤の改修

水生生物の棲息環境を熟知した専門家による改修工事です。  
アユなどが川を遡上しやすくするための工夫が随所に施されています。



## 野根川水系の活用

（アユのビジネス化／河川組合の活性化）

### 基本目標

アユの買取制度化や急速冷結できる環境を整えることで、商品力の高い天然アユビジネスを創出することができます。アユのビジネス化が実現することで河川組合が復活し、野根川水系を取り巻く環境に好循環が生まれていきます。

### アユのビジネス化の事例

地方創生推進交付金を活用した河川環境の整備やアユのビジネス化を行っている野根川（高知県東洋町）では、瞬間冷凍機や真空パック用機械の導入を決め、本格的にビジネス化を実現させています。

また、ウォーターズ・リバイタルプロジェクトを通して「産地と消費地を繋ぐ、都市部への販路開拓」も進めており、これまでに日本橋三越本店における天然鮎の販売など実績があります。



## 野根川水系への集客 (流域のリバーパーク化)

### 基本目標

以下に示す施策を通して観光客を誘致し、新たな関係人口の拡大に向けた活動を進めていきます。移住・定住へのステップとして、町民に準じた公共サービスを楽しむことができる「1/2町民」「1/3町民」の募集を制度化します。※「1/2町民」「1/3町民」については次ページをご参照ください。

### アユ釣り客の誘致

4基のえん堤魚道を整備し、アユの遡上数を回復させることで、アユ釣りを楽しむ方々を野根川流域へと誘致します。



### リバーウォークの整備

野根川水系一帯をリバーパーク化、リバーウォーク事業を開始。「ニッポン川検定」と連携し、リバーガイドの育成を行ない、将来的な雇用創出につなげていきます。

### リバーガイドの育成



公開中  
「ニッポン川検定 野根川版」

協力：講談社ブルーバックス編集部

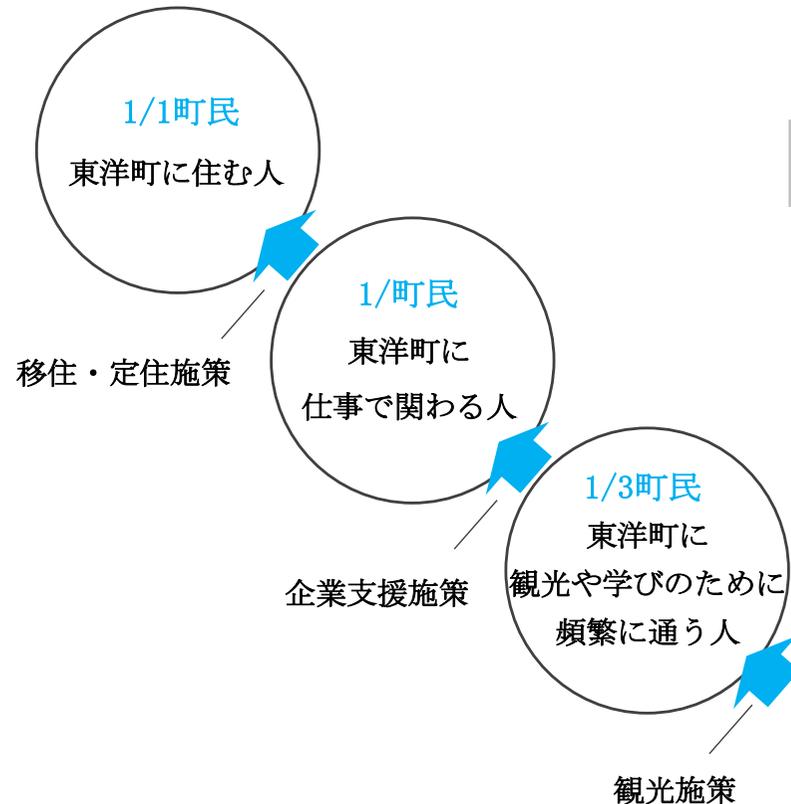
監修：藤岡換太郎（理学博士）

参考文献：「川はどうしてできるのか」

藤岡換太郎著

## 関係人口の拡大に向けた「1/2町民」「1/3町民」施策

### 「1/2町民」「1/3町民」について



東洋町への移住・定住へのステップとして  
1/2町民、1/3町民を制度化し、  
東洋町民ポイントカードを付与します。

### 東洋町民ポイントカードについて

東洋町民だけでなく、「1/2町民」「1/3町民」にも「東洋町民ポイントカード」を発行し、東洋町の活性化に寄与していただきます。

#### 〈東洋町民ポイントカードの特長〉

- 町内のお買い物やボランティア活動で貯まる
- 町内でのお買い物に使える
- 総務省による自治体ポイント制度を利用し、大手クレジットカード会社や携帯電話会社のポイントを、東洋町民ポイントに変換することも可能に

### 町民ポイントカードの先行事例



山梨県小菅村では平成30年3月より「こすげ村民カード」の発行を開始しました。村民が使える1/1カード、村民以外が使える1/2カードを用意し、さまざまな形でのポイント付与を予定しています。

# 野根川活性化計画への民間企業協賛

👉 安定的にアユ80万尾の川にする！



野根川の保全活動事業への協賛として、



酔鯨酒造株式会社

👉 景観ウォーキングを楽しむ！



野根川を守る

民間企業様とのコラボレーション

野根川を活用  
する

野根川に集客  
する

産地と消費者をつなぐ活動として、



MITSUKOSHI  
日本橋本店

事業後援メディアとして、



産経新聞社

地域の三次交通として、



コース案内看板／ユニフォームご協賛



竹中直人さん(俳優)=イラスト提供

※野根川セーブリバーの象徴としてイラストを描いてくれました。

リバーガイドのユニフォームのパーカーやTシャツにプリントされています。

